

令和6年6月8日

ご門信徒様

光照寺運営委員会

春季法要勤修に関する御報告

5月25日(土)、26日(日)に春の法要(2日間・計3法座)を、延べ70名以上の皆様にご参拝いただき、無事に勤める事が出来ました。これもひとえに、御門信徒様並びに有縁の皆様方の御懇志の賜だと厚く御礼申し上げます。

また、法要前の準備、法要当日の運営にご協力いただいた御門信徒様並びに有縁の皆様方に対して、重ねて心より謝意を申し上げます。

御門信徒の皆様から賜りましたご浄財は、標記の会計収支の通り対応致しましたのでご報告します。

なお、今年のこれからの光照寺での仏事(お盆合同法要等)行事に際しまして、精進していく所存です。老若男女問わず、又御門信徒様の有無に関わらず、一人でも多くの皆様にご参拝いただきますよう、よろしく申し上げます。

記

収入		支出	
志納金	327000円	講師御礼	200000円
(55名) 6月7日 時点		諸雑費	35317円
合計	327000円	合計	235317円

* 収支の残高 91683円は、今後の寺院活動に活用させていただきます。

以上

* 光照寺に関する行事等のご案内・ご報告は[光照寺 HP 下記 URL](https://koushouji-moji.sakura.ne.jp)・[QRコード](#)にてご覧頂けます。

URL	https://koushouji-moji.sakura.ne.jp
QRコード	

春季法要 「親鸞聖人お誕生会・御門信徒総永代経」御報告

日時：令和 6 年 5 月 25 日 (土) 昼席 1 3 時半

26 日 (日) 朝席 1 0 時 昼席 1 3 時半

場所：光照寺

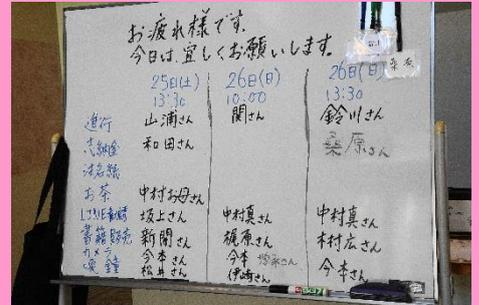
講師：海法龍師 (かいほうりゅう)

スケジュール お勤め 正信偈 ご法話

ご法話の一部を掲載

仏教は祈祷ではない。

私の生き方が明らかになる教え。



人として生まれ、限りある命をどのように生きていくのか、その意味が、南無阿弥陀仏に込められています。人間として生まれてきた私とは、

何なののでしょうか。限りある命をどういうふうに生きていくのでしょうか。

正信偈に、**極重悪人唯称仏**と出てきます。称仏(しょうぶ)とは、南無阿弥陀仏を称えることです。亡くなった人に捧げるのではなく、南無阿弥陀仏の声が、自分にそして十方全ての人に聞こえることです。

お釈迦様が**お経**を説かれたことを説法と言います。お経の中に法が説かれているからです。法にうなずいた心を信心と言います。法を聞くことにより、欲望をもち都合の悪い



物を排除していく心を持っていることが教えられます。

それを**一切善悪凡夫人**と言います。凡夫とは、全て善悪で判断し生きる人です。そのような人間だから、お経には願いがこめられ、そして、真の人間になることが、つよく願われています。そのことは、私の生き方が、はっきりしてくるということです。頂いた命、一度きりの人生と、しっかりと向き合い心から感謝出来るか=生まれたこと・生きることを本当に満足できるか喜べるか、が問われているのではないのでしょうか。

